

函館市の景観行政検証報告書

平成30年2月

函館市

30

20

10

目次

はじめに.....	1
1 検証の目的.....	1
2 検証の方法.....	2
第1章 現況の整理.....	3
第1節 社会状況の変化.....	4
第2節 景観行政の経過.....	7
第3節 都市景観に対する市民意識.....	8
第4節 都市景観形成地域の町並みの変化.....	14
第2章 都市景観形成地域景観形成計画の検証.....	25
第1節 計画概要.....	26
第2節 施策の検証.....	30
第3節 基本目標の検証.....	59
第3章 函館市都市景観形成基本計画の検証.....	63
第1節 計画概要.....	64
第2節 施策の検証.....	67
第3節 基本方針の検証.....	104
第4章 検証結果.....	107
第1節 検証結果のまとめ.....	108
第2節 今後の景観づくりの方向性.....	114
参考.....	117

はじめに

1 検証の目的

本市では、昭和63年度に西部地区を対象とする「函館市西部地区歴史的景観条例」を施行し、行政、市民、事業者が一体となって、自然と歴史にはぐくまれた、函館らしい都市景観の形成を図り、個性豊かで快適なまちづくりを進めていくため、条例に基づく各種施策を展開し、西部地区の歴史的な町並みの保全・形成に努めてきた。

また、その後、景観の価値に対する意識の高まりなどを受けて、平成7年度には、市内全域を対象とした「函館市都市景観条例」へと移行し、大規模な建築物等の景観誘導などの各種施策も展開してきたところである。

都市景観は、長い年月をかけて、社会的な影響や効果が複合的に積み重なって形成されていくものであるが、本市においては、人口減少や少子高齢化が進んだ社会となり、都市構造への影響や、空家の増加にみられるように地域の空洞化も目立ちはじめ、景観的な変化も顕在化してきている状況にある。

このため、こうした良好な都市景観形成の重要性と地域を取り巻く環境の変化などを踏まえた、今後の景観行政の方向性を検討するため、景観条例制定から30年の節目を契機として、これまで取り組んできた各種施策の効果や課題について検証するものである。

2 検証の方法

景観条例制定前の昭和60年代から現在までの社会状況や町並みの変化などの現況を整理し、昭和63年度に策定した「函館市西部地区歴史的景観地域景観形成基本計画（現在の「都市景観形成地域景観形成計画」。以下、「都市景観形成地域景観形成計画」という。）」および平成7年度に策定した「函館市都市景観形成基本計画」で定めた事項に基づいて実施してきた景観施策を中心に検証し、今後の景観づくりの方向性を定める。

【検証フロー図】

